

証明書のインポート手順 Microsoft Internet Explorer, Edge編

・ Google Chrome編

改版履歴			
版数	日付	内容	担当
V.1.0	2020/9/14	初版	NII
V.1.1	2021/10/12	対象ブラウザにMicrosoft Internet Explorerを追加	NII
V.1.2	2023/12/14	クライアント証明書および登録担当者用証明書切り替え	NII

Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順

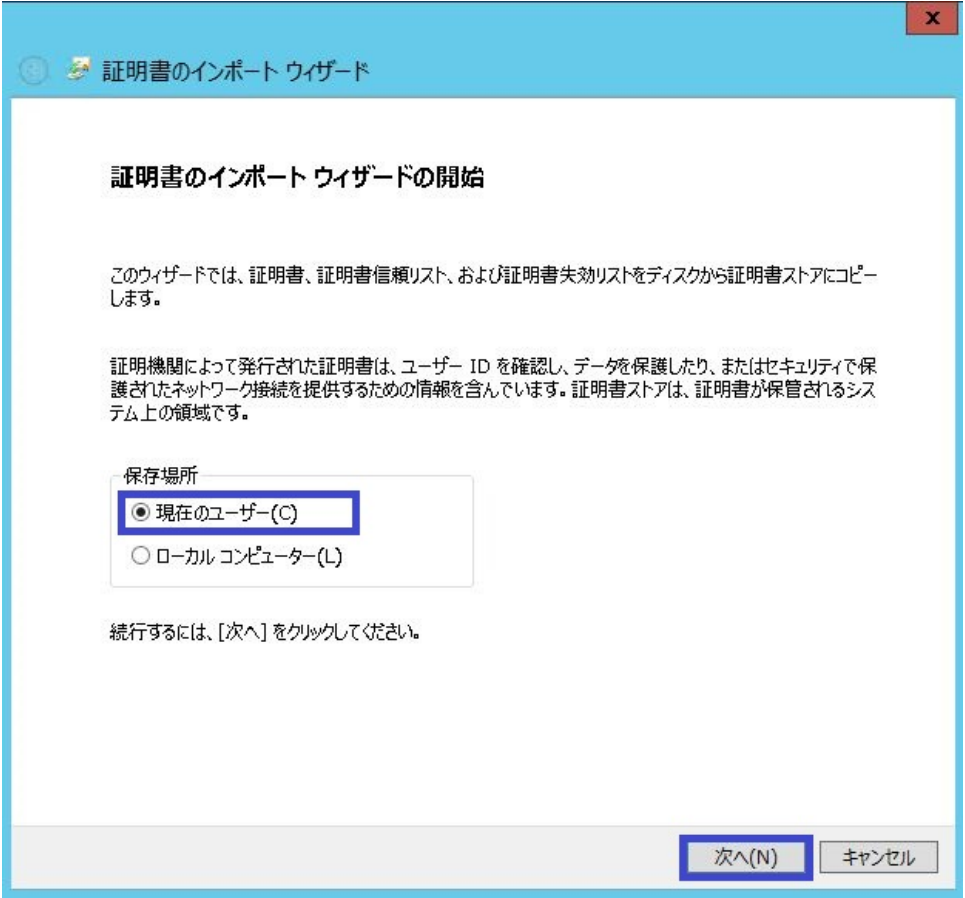
ここではMicrosoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順について記述します。

Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの手順

1. ダウンロードフォルダにある証明書のp12ファイルをダブルクリックもしくは右クリックから[開く]を選択してください。



2. 証明書のインポートウィザードが開始されます。保存場所に「現在のユーザー(C)」を選択し、[次へ]を選択してください。



3. ファイル名にインポートする証明書のp12ファイルが選択されていることを確認し、[次へ]を選択してください。
(インポートする証明書のp12ファイルが選択されていない場合は[参照]をクリックして、インポートする証明書のp12ファイルを選択してください)

証明書のインポート ウィザード

インポートする証明書ファイル

インポートするファイルを指定してください。

ファイル名(F):
C:\Users\Downloads\ClientCert.p12

参照(R)...

注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:

- Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12)
- Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)
- Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)

次へ(N) キャンセル

4. 「このキーをエクスポート可能にする(M)キーのバックアップやトランスポートを可能にします。」と「全ての拡張プロファイルを含める(A)」にチェックを入れ

証明書をダウンロードする際に使用したアクセスPINをパスワード欄に入力し、[次へ]を選択してください。

← 証明書のインポート ウィザード

秘密キーの保護
セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):
●●●●●●●●●●●●

☐ パスワードの表示(D)

インポート オプション(I):

☐ 秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

☒ このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。

☒ すべての拡張プロパティを含める(A)

次へ(N) キャンセル

5. 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)」にチェックを入れ、[次へ]をクリックしてください。

×

←  証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

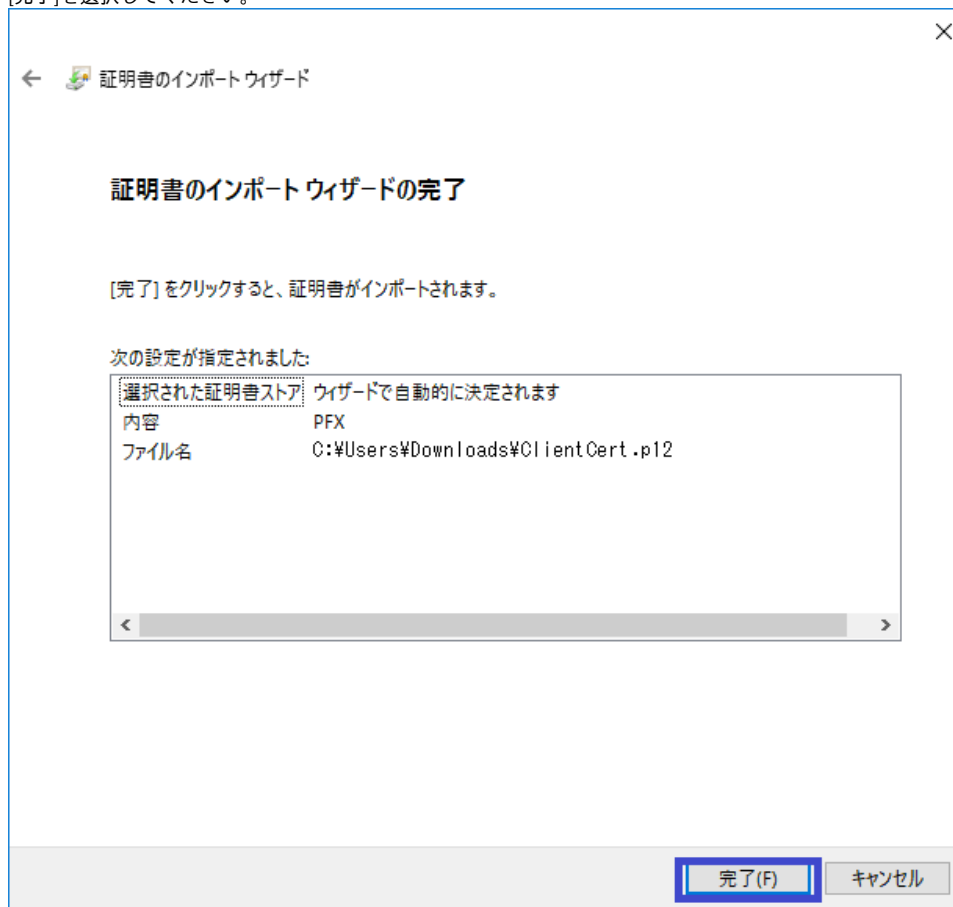
証明書ストア:

参照(R)...

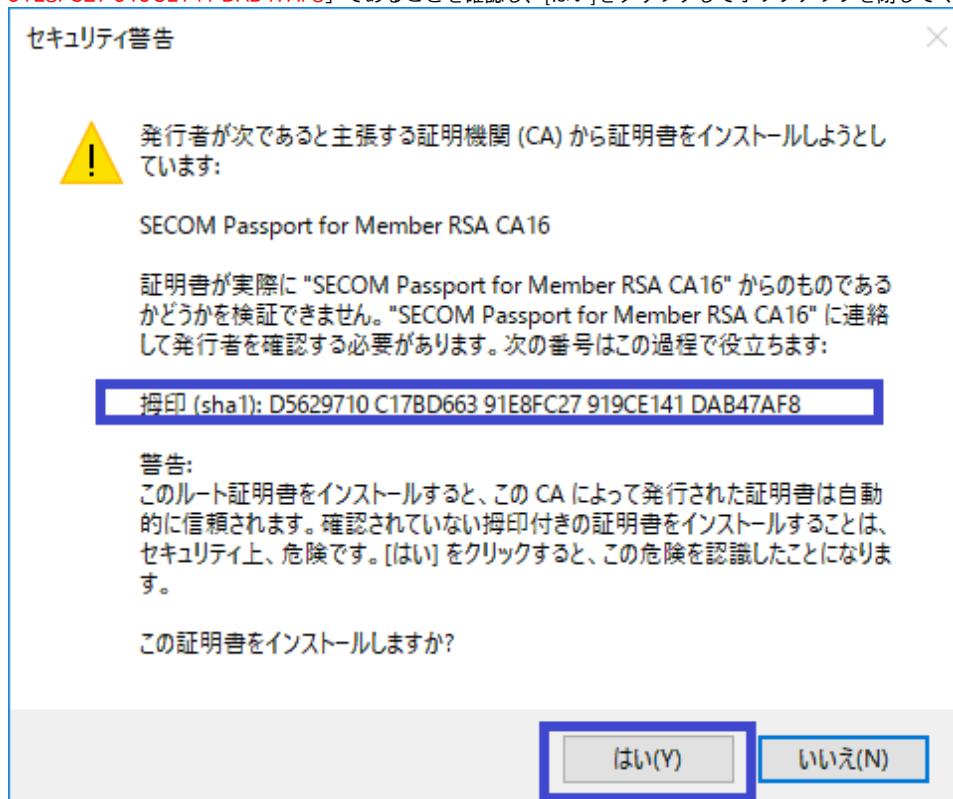
次へ(N)

キャンセル

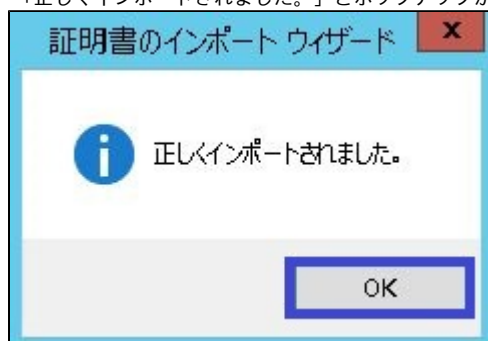
6. [完了]を選択してください。



7. ルート証明書がインストールされていない場合、セキュリティ警告画面がポップアップします。「拇印 (sha1)」が「D5629710 C17BD663 91E8FC27 919CE141 DAB47AF8」であることを確認し、[はい]をクリックしてポップアップを閉じてください。



8. 「正しくインポートされました。」とポップアップが表示されるとインポートは完了です。[OK]をクリックしてポップアップを閉じてください。



以上で、Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポートは完了しました。
「[証明書の存在確認手順 Internet Explorer編](#)」、「[証明書の存在確認手順 Microsoft Edge編](#)」もしくは
「[証明書の存在確認手順 Google Chrome編](#)」を実施し、証明書がインポートされていることを確認してください。